

公益財団法人 P H D 協会

事業報告書

2025

2025.4 – 2026.3



事業報告

公益財団法人
PHD協会

2025

2025.4 - 2026.3

研修	P. 2-6
居住支援	P. 7-8
広報・啓発	P. 9-13
組織運営	P. 14-15

Annual Report 2025

理事長挨拶

理事長 水野 雄二



PHD協会へのご支援に厚く感謝申し上げます。2025年度も「弱き者との共生」をテーマに聴覚障害者、内戦被害者、困窮外国人への支援に努めました。特にネパールから招いた聴覚障害者は1年間の訓練を全うし、自信に満ちて笑顔で帰国しました。障害を越えて力強く前進する研修生に大きな力を得ることができました。また戦火のミャンマーからも、僧院教師が日本の教育現場で学び、様々な経験を積んで帰国しました。また、「みんなのいえ」では当年度も困難に直面する在住外国人に住居を提供し、また食料配布会も回数を重ねました。

2026年度は残念ながら1名の研修生招聘となりましたが、ミャンマーからの研修生を招聘しています。今後も居住支援、多文化共生の働きを進め、私たちにできる「平和への働き」を強めていきます。これからの歩みにも更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

事務局報告

常務理事・事務局長 坂西 卓郎



2025年度のハイライトは3つあります。1. 聴覚障害のある研修生の招聘、2. ミャンマー大地震救援活動、3. JICA多文化共生推進事業でした。

1. 第41期生としてミャンマーから僧院学校の先生であるピューピューさん、ネパールから聴覚障害のあるルビーさんをお迎えし、研修事業を実施させていただきました。聴覚障害のある研修生の招聘は新しい挑戦でしたが、ルビーさんを通じて支え合いの輪が広がったことはPHD運動が体現された出来事でした。
2. 2025年3月28日、マグニチュード7.7(推定)の大地震が発生しました。多くの皆様からご支援をいただき、ミャンマーに届けることができました。
3. JICA関西との協働による多文化共生推進事業、略してタブコラがほぼ終了しました。兵庫県内での多文化共生×社会福祉の連携を促進することができました。

これらの事業を実施できたのもお支えいただいている皆様のご支援、ご協力のおかげです。この場を借りて改めて感謝申し上げます。



第41期研修生

2025年度は、第41期国際研修生として、ミャンマーから僧院学校の教員であるピューピューさん、ネパールから聴覚障害のあるルビー・ボヤージュさんを受け入れました。

ミャンマーからのチョーチョーさんは、853名の生徒が通う僧院学校の教員として日々子どもたちの生活と学びを支えています。日本での研修では、教育や児童養護の現場での見学や学習を通して、多くの気づきや示唆を得ました。

ネパールからの研修生であるルビーさんは、母国で洋裁と柔道を学んできました。日本での研修でも洋裁や柔道をさらに学び、その中で得た知識や経験を、将来ネパールの聴覚障害者の方々へ伝え、社会参加や自立の一助となる活動につなげていきたいと考えています。

2025年度は、聴覚障害のある研修生を招聘するという新たな挑戦を行いました。皆さまのご支援のおかげで、大きなトラブルもなく1年間の研修を終えることができ、当初の期待を超える充実した事業となりました。ピューピューさんとルビーさんが充実した研修を受けることができたのは、研修指導者の皆さま、そしてボランティアの皆さまの温かいご支援の賜物です。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

共通研修

4月～6月

日本語・日本手話の学習(ボランティアの皆さん/兵庫県神戸市)

8月

福祉研修(丹波篠山市立ささやま支援学校/兵庫県丹波篠山市)

国際交流・多文化理解研修(篠山国際理解センター/兵庫県丹波篠山市)

柔道研修(北村茂さん/兵庫県丹波篠山市)

洋裁研修(堀毛幸代さん/兵庫県丹波篠山市)

福祉研修(たんなん子育てふれあいセンター/兵庫県丹波篠山市)

福祉研修(一般社団法人みずほの家/兵庫県丹波篠山市)

10月

防災研修(阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター/兵庫県神戸市)

12月

口腔衛生研修(医療法人社団とくなが小児歯科クリニック レオ 徳永順一郎さん/兵庫県川西市)

救急救命研修(神戸市シルバーカレッジ救急救命グループ/兵庫県神戸市)

2月

保健衛生研修(三木市総合保健福祉センター/兵庫県三木市)

釜ヶ崎研修(旅路の里/大阪府大阪市)

協同組合研修(コープこうべ協同学苑/兵庫県三木市)

残留農薬とリーダーシップ研修(淡路島モンキーセンター/兵庫県洲本市)

「共に生きる」を考える研修(就労継続支援B型事業おのころの家/兵庫県洲本市)

「共に生きる」を考える研修(放課後等デイサービスふくろうっこ/兵庫県神戸市)

アクションプラン(行動計画)作成研修(PHD協会/兵庫県神戸市)

3月

口腔衛生研修(医療法人社団とくなが小児歯科クリニック レオ 徳永順一郎さん/兵庫県川西市)



救急救命研修



口腔衛生研修

失礼ながら研修先の団体様につきまして、敬称を省略させていただきました。

ピューピューさん

出身国：ミャンマー

研修テーマ：教育、保健衛生、料理

宗教：上座部仏教



初等教育研修（淡路市立石屋小学校/兵庫県淡路市）

4月～2026年3月 滞在/大橋孝子さん、前田千恵さん・明子さん

4月～6月

日本語研修(神戸YMCA学院専門学校/兵庫県神戸市)

6月

保育研修(神戸YWCA保育園/兵庫県神戸市)

保育研修(友愛幼児園/兵庫県神戸市)

7月

児童福祉研修(社会福祉法人神戸真生塾/兵庫県神戸市)

保育研修(はらっぱ保育所/兵庫県西宮市)

8月

児童福祉研修(アメニティホーム ルピナス高砂/兵庫県高砂市)

9月

中等教育研修(神戸市立長峰中学校/兵庫県神戸市)

中等教育研修(愛徳学園中学校・高等学校/兵庫県神戸市)

10月

初等教育研修(丹波篠山市立味間小学校/兵庫県丹波篠山市)

初等教育研修(淡路市立石屋小学校/兵庫県淡路市)

11月

初等教育研修(高砂市立阿弥陀小学校/兵庫県高砂市)

「共に生きる」を考える研修(社会福祉法人竜山会ステップハウス/兵庫県高砂市)

12月

児童福祉研修(社会福祉法人神戸少年の町/兵庫県神戸市)

1月

中等教育研修(神戸市立長峰中学校/兵庫県神戸市)



研修で学んだことをノートに書き留める様子



中等教育研修（愛徳学園中学校・高等学校/兵庫県神戸市）

2025年度研修旅行

中国地方研修旅行 2025年9月11日～9月12日

岡山県/岡山大学

広島県/広島平和記念公園、平和記念資料館

山口県/岩国みなみワイズメンズクラブ

東日本研修旅行 2025年11月10日～11月19日

神奈川県/NPO法人こどもの広場もみの木 もみの木園

東京都/全日本自動車産業労働組合総連合会、日本労働組合総連合会、ユニセフハウス、

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会、東京2025デフリンピック



東京都/公益財団法人ロータリー米山記念奨学会にて

ルビーさん

出身国：ネパール

研修テーマ：洋裁、柔道、IT、障害者福祉

宗教：ヒンドゥー教



4月～2026年3月 滞在/大橋孝子さん、前田千恵さん・明子さん

4月～6月

日本手話研修(多機能型神戸長田ふくろうの杜/兵庫県神戸市)

5月

洋裁研修(神戸女子洋裁専門学校/兵庫県神戸市)

洋裁研修(高森りり子さん/兵庫県神戸市)

洋裁研修(深田恵子さん/兵庫県神戸市)

日本手話による交流(山田幸夫さん/兵庫県明石市)

柔道研修(関西学院大学体育会柔道部/兵庫県西宮市)

6月

洋裁研修(神戸女子洋裁専門学校/兵庫県神戸市)

洋裁研修(高森りり子さん/兵庫県神戸市)

洋裁研修(深田恵子さん/兵庫県神戸市)

日本手話による交流(山田幸夫さん/兵庫県明石市)

7月

洋裁研修(神戸女子洋裁専門学校/兵庫県神戸市)

洋裁研修(高森りり子さん/兵庫県神戸市)

洋裁研修(深田恵子さん/兵庫県神戸市)

日本手話による交流(山田幸夫さん/兵庫県明石市)

柔道研修(長田柔道会/兵庫県神戸市)

日本手話による交流(NPO法人西部ろうあ仲間サロン会、さろん食堂、手話サークル/鳥取県米子市)

ろう者就労研修(社会福祉法人こうほうえん/鳥取県米子市)

ろう者教育研修(鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校/鳥取県米子市)

手話通訳研修(公益財団法人鳥取県聴覚障害者協会・鳥取県西部聴覚障がい者センター/鳥取県米子市)

ろう者教育研修(鳥取市ろうあ成人学級/鳥取県鳥取市)

保育研修(はらっぱ保育所/兵庫県西宮市)

8月

洋裁研修(神戸女子洋裁専門学校/兵庫県神戸市)

洋裁研修(高森りり子さん/兵庫県神戸市)

洋裁研修(深田恵子さん/兵庫県神戸市)

日本手話による交流(山田幸夫さん/兵庫県明石市)

柔道研修(長田柔道会/兵庫県神戸市)

9月

洋裁研修(神戸女子洋裁専門学校/兵庫県神戸市)

洋裁研修(高森りり子さん/兵庫県神戸市)

洋裁研修(深田恵子さん/兵庫県神戸市)

日本手話による交流(山田幸夫さん/兵庫県明石市)

柔道研修(長田柔道会/兵庫県神戸市)

10月

洋裁研修(神戸女子洋裁専門学校/兵庫県神戸市)

洋裁研修(高森りり子さん/兵庫県神戸市)

洋裁研修(深田恵子さん/兵庫県神戸市)

日本手話による交流(山田幸夫さん/兵庫県明石市)

柔道研修(長田柔道会/兵庫県神戸市)

柔道研修(関西学院大学体育会柔道部/兵庫県西宮市)

11月

洋裁研修(神戸女子洋裁専門学校/兵庫県神戸市)

洋裁研修(高森りり子さん/兵庫県神戸市)

洋裁研修(深田恵子さん/兵庫県神戸市)

柔道研修(長田柔道会/兵庫県神戸市)

12月

洋裁研修(神戸女子洋裁専門学校/兵庫県神戸市)

洋裁研修(高森りり子さん/兵庫県神戸市)

洋裁研修(深田恵子さん/兵庫県神戸市)

柔道研修(長田柔道会/兵庫県神戸市)

「共に生きる」を考える研修(阪神友愛食品株式会社/兵庫県神戸市)

1月

洋裁研修(神戸女子洋裁専門学校/兵庫県神戸市)

洋裁研修(高森りり子さん/兵庫県神戸市)

洋裁研修(深田恵子さん/兵庫県神戸市)

柔道研修(長田柔道会/兵庫県神戸市)

日本手話研修(手話サークル若葉/兵庫県神戸市)

2月

洋裁研修(神戸女子洋裁専門学校/兵庫県神戸市)

洋裁研修(高森りり子さん/兵庫県神戸市)

洋裁研修(深田恵子さん/兵庫県神戸市)

柔道研修(長田柔道会/兵庫県神戸市)

日本手話研修(手話サークル若葉/兵庫県神戸市)

3月

洋裁研修(神戸女子洋裁専門学校/兵庫県神戸市)

柔道研修(長田柔道会/兵庫県神戸市)

西日本研修旅行 2026年1月18日～1月24日

鹿児島県/だるま保育園

熊本県/水俣市立水俣病資料館、一般社団法人きぼう・未来・水俣、
国立療養所菊池恵楓園福岡県/北九州市立祝町小学校、アジアを考える会・北九州、
生き方のデザイン研究所、世界平和パゴダ

山梨研修旅行 2026年2月2日～2月6日

岐阜県/中濃教会

山梨県/山梨YMCA、山梨英和中学校・高等学校、甲府21ワイズメンズクラブ



鹿児島県/だるま保育園にて

アクションプラン（活動計画）

個別研修と共通研修を終えた後、41期研修生2名は帰国後を見据えたアクションプラン（活動計画）作りに取り組みました。次の図は研修生の出身地域での課題分析と活動目的との因果関係を視覚化したものです。日本での専門研修と共通研修で得た様々な学びと気づきが盛り込まれており、この計画は研修生自らが地域で活動していく上での指針となります。



ピューピューさんの アクションプラン



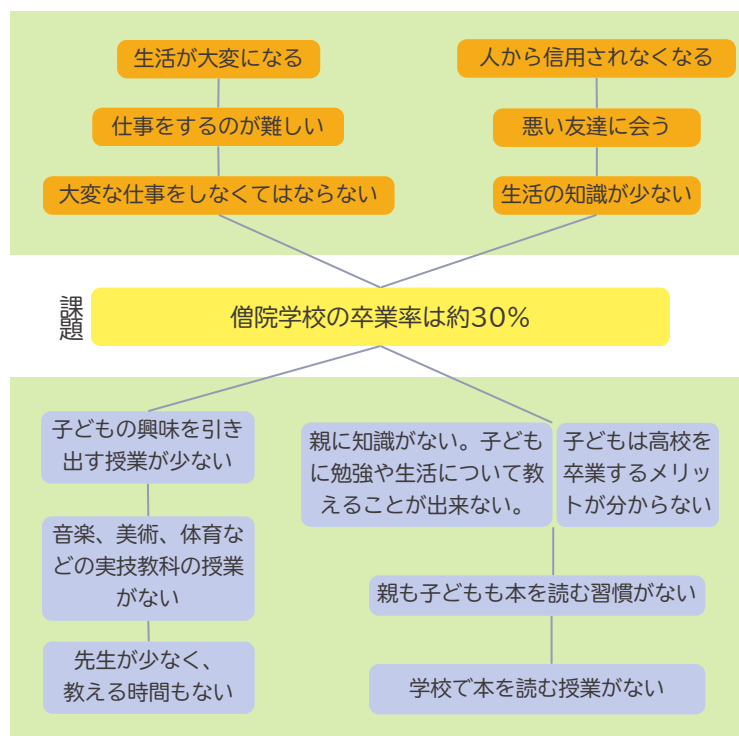
読書で子どもたちの未来を育む

ピューピューさんの学校では、高校卒業率が約30%と低いことが課題となっています。日本での教育現場や児童養護施設での研修を通して、子どもたちが日常的に読書に親しむ機会が多くあることに気づきました。そこでピューピューさんは、自身の僧院学校で子どもたちの読書機会を増やすアクションプランを考えました。週に1回45分の読書時間を設け、感想の共有や本の要約作成を行うことで、子どもたちの知識や考える力を育みます。学ぶ楽しさを感じる生徒を増やし、卒業率の向上と将来の選択肢の拡大につなげることを目指しています。

課題に起因する問題

課題の原因

問題系図



ルビーさんの アクションプラン



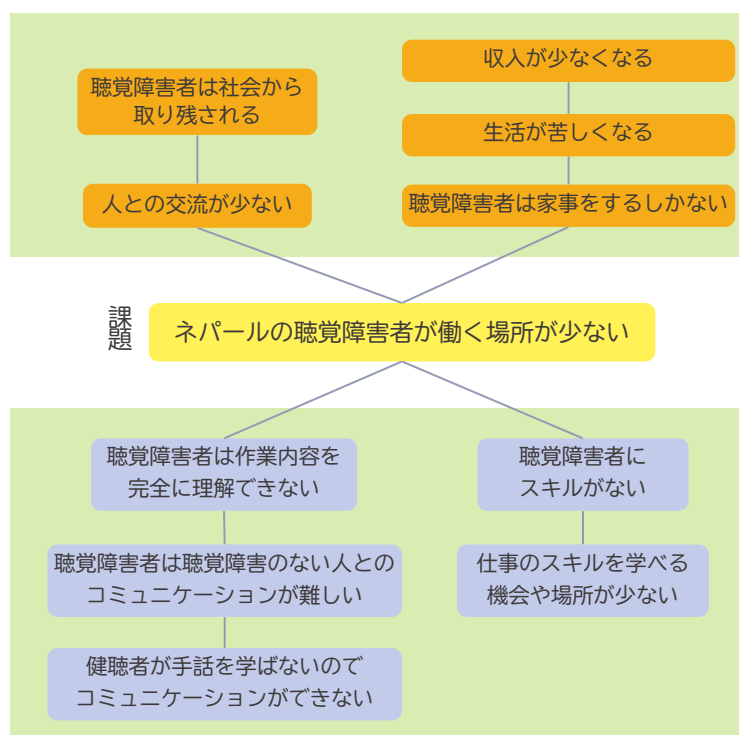
ネパールの聴覚障害者に 洋裁技術を身につける機会を

ネパールでは、聴覚障害者が職業訓練を受けたり働いたりする機会が限られており、社会的に孤立しやすいという課題があります。ルビーさんは、日本で学んだ洋裁の知識や技術をネパールの聴覚障害者に伝えたいと考えました。そのため、自身の洋裁店を開き、午前は聴覚障害者向けの洋裁教室、午後は一般向けの洋裁店として運営し、オンライン販売にも取り組む計画です。洋裁技術の習得と就労機会の創出を通して、聴覚障害者が社会で自立し、平等に働ける環境づくりを目指しています。

課題に起因する問題

課題の原因

問題系図



選考・フォローアップ・調査

2025年度はミャンマーとネパールを訪問しました。PHD協会のフォローアップでは、直接訪問し、出会い、対話することを重視しています。今回も元研修生を中心に多くの人たちと出会い、対話をすることができました。

選考においてはミャンマーで僧院学校の先生12名を対象に実施しました。「教育の力で平和を」、混乱の中にあるミャンマーのためにできる取り組みとして、Peace研修生4人目となるチョーチョーさんを選考することができました。他方、ミャンマーからの聴覚障害のある研修生招聘については12名を選考したものの、研修内容などのマッチングがうまくいかず招聘には至りませんでした。しかしながら、国内研修生としてミャンマーの親子2名との出会いがありました。難民として来日し、さまざまな困難に直面している親子の状況を改善するため、研修を実施します。新しい形の研修ですが、ミャンマーの民主化を応援する重要な取り組みになると考えます。

訪問国	日程
ミャンマー	2025/8/19～8/26
ネパール	2025/12/15～12/17



ミャンマー/元研修生と2026年度研修生候補者



ミャンマー/聴覚障害者の皆さんと交流



ミャンマー/2023年度研修生・チェリーさん宅への訪問



ネパール/聴覚障害者の皆さんと交流

第42期研修生の選考結果

ミャンマーで第42期研修生の選考を実施しました。2026年度は1名が研修生として来日することになりました。

ミャンマー

応募者の出身地域	ネピドー・テッコウン
選考結果	 チョーチョーさん (32歳)



チョーチョーさんの授業風景



国際協力・交流シェアハウス



国際協力・交流シェアハウス「みんなのいえ」は、困窮外国人や難民申請者等が安心して生活を立て直し、自立へ向けた一歩を踏み出すための居住支援を行っています。2025年度には、2棟目となるシェアハウス「ふたば」を開設し、より多くの方を受け入れられる体制を整備しました。

居住者内訳	滞在期間	滞場所	滞在日数	出身国
	5月1日	みんなのいえ	1日	エジプト
	7月4日～7月6日	みんなのいえ	3日	アメリカ
	9月19日～3月16日	みんなのいえ	179日	スリランカ
	10月17日～3月31日	みんなのいえ	166日	中国（香港・ウイグル自治区含む）
	10月17日～3月31日	みんなのいえ	166日	中国（香港・ウイグル自治区含む）
	10月24日～12月17日	みんなのいえ	55日	フィリピン
	10月24日～12月17日	みんなのいえ	55日	日本（外国ルーツを持つ）
	12月25日～3月31日	みんなのいえ	97日	インドネシア
	2月25日～3月31日	みんなのいえ	35日	ミャンマー
	2月25日～3月31日	みんなのいえ	35日	ミャンマー
	2月25日～3月13日	ふたば	17日	中国（香港・ウイグル自治区含む）
	2月25日～3月13日	ふたば	17日	中国（香港・ウイグル自治区含む）
	2月26日～3月31日	ふたば	34日	ネパール
合計 13名			860日	9か国

シェアハウス入居者以外の居住支援

みんなのいえ・ふたば入居者以外への居住支援としては、延べ27名からの相談を受け、情報提供や不動産屋の紹介、内見の同行、引越に伴う水道や電気・ガスの手続きなどに対応しました。

国籍の内訳

インドネシア	インド	ネパール	チュニジア	フィリピン	アフガニスタン	ウクライナ
6名	4名	3名	3名	3名	1名	1名
コンゴ民主共和国	スーダン	ソマリア	ブラジル	ベトナム	南アフリカ共和国	合計
1名	1名	1名	1名	1名	1名	27名

在留資格の内訳

永住者	留学	家族滞在	特定活動	技能	技能実習	第三国定住	特定技能	不明	合計
10名	4名	3名	2名	1名	1名	1名	1名	4名	27名

相談支援・同行支援、日本語指導

《相談支援》

就労と居住を除く生活に関する相談と同行支援を延べ98名に対して実施。具体的な支援内容は、行政手続きや在留資格の更新・生活保護申請のサポート、銀行や病院の同行など多岐にわたりました。

国籍の内訳

コンゴ民主共和国	ギニア	スリランカ	リビア	中国	バングラデシュ	ミャンマー	チュニジア	日本（外国ルーツを持つ）	
28名	13名	8名	8名	6名	6名	6名	4名	4名	
フィリピン	ガンビア	メキシコ	アメリカ	ウクライナ	カメルーン	シリア	タンザニア	ハンガリー	合計
4名	3名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	98名

在留資格の内訳

特定活動	短期滞在	仮放免・仮滞在	定住者	経営・管理	留学	永住者の配偶者等
39名	11名	10名	9名	8名	8名	4名
特定技能	家族滞在	介護	観光	技術・人文・国際業務	技能実習	合計
3名	2名	1名	1名	1名	1名	98名

《日本語指導》

主に難民申請者や技能実習生を対象に、延べ87名へ日本語指導を実施しました。難民申請中で今後日本での長期滞在が見込まれるミャンマー人親子を対象に、ゼロ初級レベルの日本語クラスや進学を見据えた学習プログラムを計画・実施しました。また、専属の日本語教師に加え、ボランティアと連携し、転職を目指すインドネシア人技能実習生に対して、仕事で必要となる日本語や専門用語の習得支援を行いました。



日本語指導の様子

国籍の内訳

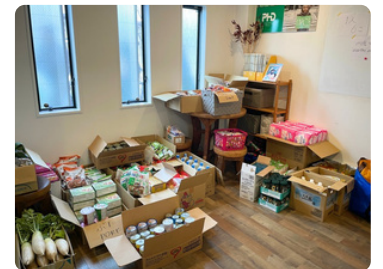
中国	タジキスタン	ミャンマー	ギニア	インドネシア	スリランカ	タイ	アフガニスタン	タンザニア	チュニジア	合計
32名	21名	20名	4名	3名	2名	2名	1名	1名	1名	87名

在留資格の内訳

特定活動	家族滞在	特定技能	技能実習	留学	定住者	合計
37名	23名	21名	3名	2名	1名	87名

食料・生活支援

フードバンク関西やコープこうべからの定期的な食料提供に加え、支援者からの寄贈や、神戸市「食支援を通じた相談支援に取り組む民間団体に対する補助金」および「神戸まちづくり六甲アイランド基金」の助成金を活用し、延べ1,576名の外国人に食料・生活物資を提供しました。買い物に同行する購入支援や、月1回の食料配布会を実施しました。配布会では、毎月約93名の外国人に食料や日用品を配布するとともに、通訳者を介した生活相談や情報提供を行いました。さらに、神戸市の食支援事業では、延べ216名の日本人に食料・生活物資を提供し、食料配布会では月平均約18名に食料や日用品を配布しました。



食料配布会の様子

国籍の内訳

ネパール	日本	ミャンマー	バングラデシュ	スリランカ	ガンビア	ウクライナ	中国	ギニア	フィリピン	リビア	ベトナム	韓国
830名	216名	126名	71名	69名	47名	44名	40名	30名	17名	14名	14名	13名
タジキスタン	アフガニスタン	シリア	チュニジア	インドネシア	カメルーン	ルーマニア	タイ	アメリカ	イギリス	イタリア	モロッコ	合計
10名	8名	7名	5名	3名	3名	3名	2名	1名	1名	1名	1名	1,576名

在留資格の内訳

留学	日本国籍	特定活動	第三国定住	仮放免・ 仮滞在	短期滞在	家族滞在	経営・管理	定住者	定住	
1,051名	216名	105名	40名	32名	25名	22名	14名	13名	12名	
特別永住	技能実習	永住者	永住者の 配偶者等	技術・人文・ 国際業務	介護	特定技能	文化活動	観光	日本人の 配偶者等	合計
12名	8名	5名	5名	5名	4名	3名	2名	1名	1名	1,576名

就労支援

《就労支援》

留学生へのアルバイト情報の提供や、シェアハウス入居者であるインドネシア人の転職支援として、コープこうべ関連施設やハローワークへの同行などを行い、延べ24名の外国人に就労支援を実施しました。また、登録支援機関として、特定技能2名に対する支援も行いました。

国籍の内訳

コンゴ民主共和国	インドネシア	カメルーン	ネパール	バングラデシュ	スリランカ	ウクライナ	合計
7名	7名	3名	3名	2名	1名	1名	24名

在留資格の内訳

特定活動	技能実習	留学	特定技能	仮放免	技術・人文・国際業務	合計
9名	8名	3名	2名	1名	1名	24名

《登録支援機関としての就労支援》

2025年度は2名に対して特定技能「介護」での就労支援を行いました。

- ・社会福祉法人いたみ杉の子（伊丹市）/メキシコ人男性
- ・株式会社メロディ（尼崎市）/ミャンマー人女性



講演・交流会

2025年度も各地で講義・講演会を行い、3,384名の方にご参加いただきました。

<講演・交流会>

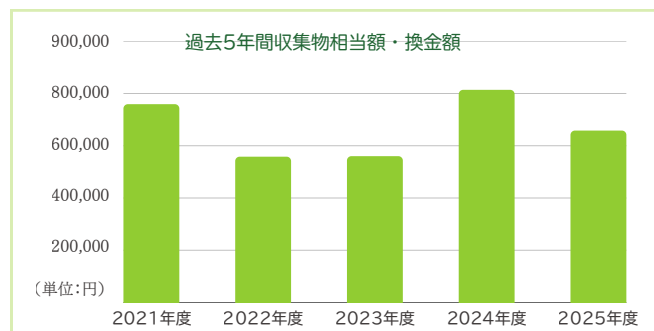
芦屋ロータリークラブ、川西ロータリークラブ、篠山ロータリークラブ、神戸親和大学、神戸学院大学、甲南女子大学、プラス1グループ、神戸市シルバーカレッジ、米山学友研修交流会、同志社女子大学、神戸市シルバーカレッジ友の会、兵励会、第41期研修生来日報告会、いなみ野学園大学院、日本地域福祉学会第39回大会、HYOGON総会、芦屋浜ロータリークラブ、2025すばる学習会、兵庫県立伊丹高等学校、アユス「お寺と多文化共生」講演、2025-26年度米山記念奨学セミナー、JANIC多文化共生の担い手・実践者全国会議2025、アユスオンラインセミナー、関西学院大学、岡山大学、岩国みなみワイズメンズクラブ、国際ロータリー第2680地区米山記念奨学委員会奨学生ミーティング、関西学院高等部、兵庫県立明石城西高等学校、高砂青松ロータリークラブ、川西猪名川ロータリークラブ、地域研究委員会多文化共生分科会（第26期・第9回）、淡路市立東浦中学校、「みんなのいえ」マンスリーサポーターオンライン交流会、神戸西神ロータリークラブ、日本キリスト教団神戸地区懇談会、のぞみ保育園、ミャンマー平和・復興祈りの集い、日本学術会議多文化共生分科会主催公開シンポジウム、加東市連合婦人会、第41期研修生帰国報告会、2025年度米山記念奨学生修了式・歓送会、手話サークル明城会、神戸市食支援団体交流会

<敬称略>

書き損じハガキ等の収集

2025年度にご寄付いただいた収集物の換金・相当額は60万円を超えました。

収集物の相当額・換金額集計（単位：円）	
書き損じ及び未使用ハガキ	209,013
未使用切手	116,285
外貨コイン・使用済み切手	75,500
未使用テレホンカード	72,500
外貨紙幣	78,430
ハチドリ電気（支援者：2,051名）	104,315
その他商品券	2,000
合計	658,043



ボランティアとの協働

PHD協会の活動に、1年を通じて164名の方々がボランティアとして関わってくださいました。

ボランティア参加者数	
日本語復習	122名
事務所作業補助	29名
食料配布会	12名
その他ボランティア（居住支援など）	1名
合計	164名

会員数

会員数は下記の通り、終身維持会員、友の会会員、法人会員を含めて780名となりました。継続したご支援、新たな方からのご支援をいただけるよう、様々な媒体、方法を駆使して広報活動を展開していきます。

	新規会員数 (実績)	2025年度末 の会員数	前年度末 からの増減
終身維持会員	3名	213名	+1名
PHD会員	2名	369名	+4名
友の会会員	5名	139名	±0名
法人会員	1団体	7団体	+1団体
マンスリーサポーター	13名	52名	+8名
合計	23名 1団体	773名 7団体	+13名 +1団体

※会員情報の整理・更新を行った結果を反映しています。

法人会員の団体様



SOROPTIMIST
Best for Women®
国際ソロプチミスト神戸 様



公益財団法人神戸YMCA 様



高砂ロータリークラブ
高砂ロータリークラブ 様



生活協同組合コープこうべ 様



村田建設株式会社
村田建設株式会社 様



有限会社プラチナ 様



あなたに伝えたい想いがあります。
株式会社ハウスメイト 様

他団体との協働

他の国際協力・交流団体等との共催行事の実施、運営参加を通して、協働および情報交換を行いました。また、イベント等にも参加し、PHDの活動を幅広く紹介しました。

<共催・参加イベント>

- 4月 関西NGO協議会お花見交流会、2025学年度米山記念奨学生オリエンテーション、ミャンマー大地震救援募金in尼崎、大阪YMCA臨時評議員会、特定技能「自動車運送業」セミナー、日本地域福祉学会、手話しゅわマルシェ、神戸YMCA総主事就任式、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、第22回「多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー」打合せ、神戸学生青年センター・六甲奨学基金30周年の集い、フードバンク関西、神戸NGO協議会、外務省主催NGOインターン・プログラム説明会、篠山ナマステ総会
- 5月 大阪YMCA臨時評議員会、関西NGO協議会選挙管理委員会、NGO神戸外国人救援ネット理事会、HYOGON監査、NGO神戸外国人救援ネット会議、HYOGON運営委員会、ミャンマー大地震救援募金in尼崎、Nビボランチ会へ緊急支援広報でのCanvaの使い方へ、ろう者でもできる!Yes, Deaf Can!、コープともしびボランティア振興財団理事会、オンライン緊急祈禱会「ミャンマー地震 被災地のために」、真如苑多文化共生ネットワーク会議、関西NGO協議会総会
- 6月 外務省主催NGOインターン・プログラムオリエンテーション、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、NJ協議会2025年度総会、神戸YMCA評議員会、ひょうごコミュニティ財団理事会、フードバンク関西、JANIC総会、コープともしびボランティア振興財団理事会、NGO神戸外国人救援ネット30周年の集い、多文化共生WG
- 7月 アーユス主催イベント【仏共講座】事前打合せ、2025年度「連合・愛のキャンパ」面談、神戸YMCA国際委員会、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、HYOGON運営委員会、フードバンク関西、多文化共生の担い手・実践者全国会議2025打合せ、ひょうごコミュニティ財団選考委員・役員等意見交換会、多文化共生のための開発教育・国際理解セミナー打合せ、アーユス【仏共講座】事前打合せ
- 8月 多文化共生のための開発教育・国際理解セミナー、神戸市暮らし支援課食支援団体交流会、ひょうごコミュニティ財団助成部会、フードバンク関西、ひょうごコミュニティ財団理事会
- 9月 外務省主催NGOインターン・プログラムキャリア形成セミナー事前説明会、ひょうごコミュニティ財団助成部会、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、2025年度（令和7年度）第1回ひょうご福祉ネット例会、関西NGO協議会主催ACTION from KANSAIつながる・学ぶ・変えるユースキャンプ2025（～15日）、フードバンク関西、成功事例に学ぶ個別相談付き広報セミナー、外務省主催NGOインターン・プログラムキャリア形成セミナー（～27日）、若人の賞贈呈式
- 10月 いま「外国人」支援をするということ「NGO新人賞」受賞者に聞く、MYANMAR震災から半年を振り返る、ひょうごコミュニティ財団市民活動大交流会、ひょうごコミュニティ財団助成部会、成功事例に学ぶ個別相談付き広報セミナー、フードバンク関西、ネパール虹の家10周年記念報告会、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、大阪YMCA評議員会、JANIC多文化共生WG10月会合、ひょうご居住支援法人連絡会「きずな」研修会、ひょうご居住支援部会
- 11月 居住支援団体研修「居住支援における見守り」、神戸市主催「成功事例に学ぶ個別相談付き広報セミナー：講師 尾関栄二氏」、ミャンマー軍の見せかけの「選挙」と人々の求める真の連邦制民主主義、2025年度居住支援研修会、ハチドリ電力支援団体報告会事前打ち合わせ、ミャンマーの民主化を支援する議員連盟、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、「赤い羽根福祉基金」第10回助成成果報告会、自動車総連福祉カンパ特別寄贈贈呈式、ロータリー米山日本文化セミナー、HYOGON運営委員会、2025年度居住支援研修会、神戸市福祉局くらし支援課「フードサポートこうべへ物価高騰に負けないくらし応援」、フードバンク関西、「なぜ難民保護を求め続けるのか～33年間の実践から感じていること～」、梅光学院大学2025年度第3Qサービス・ラーニング最終報告会、赤い羽根福祉基金2026年度事業助成第1回オンライン公募説明会、神戸YMCA国際委員会、株式会社神戸マツダPHD協会活動車両贈呈式、JANIC多文化共生WG、ボランティア・市民活動の推進に関する関係省庁との懇談会、日本学術会議多文化共生分科会
- 12月 ひょうごコミュニティ財団助成説明会、神戸市主催「成功事例に学ぶ個別相談付き広報セミナー：講師 尾関栄二氏」総括会、神戸大学Kobe Med Connect会議、兵庫県ユニセフ協会評議員会、2026年度国際理解教育多文化共生セミナー打合せ、緊迫するタイ・ミャンマー国境のいま～ミャンマー（ビルマ）難民キャンプでの25年～、ひょうご福祉ネット居住支援連絡会、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会&忘年会、ひょうご福祉ネット例会&忘年会、「日本の難民認定の現場 適正な保護のために」、大阪YMCA2025年度支援プログラムオンライン報告会、芦屋ロータリークラブクリスマス会、手話サークル明城会クリスマス会、神戸YMCA国際協力募金、「過ちを繰り返さないために～ミャンマーの見せかけの「選挙」のリスクとは」、「連携が生み出す地域福祉の新しい形～福祉×多文化共生×まちづくり」、森口育子名誉教授外務大臣表彰受賞記念講演会、横浜YMCAグローバルセミナー「日本にも人身取引があった?12歳少女人身取引事件からみえるもの」、HYOGON合宿
- 1月 ESD推進ネットひょうご神戸総会、神戸市委託「ボランティアマネジメントの基礎を学ぶ」実践編、神戸YMCA役員懇談会、村井雅清さん記念講演～阪神・淡路大震災から30年～、フードバンク関西、若者×大人合同企画若者会議、「支援の現場から学んだ、ヒト・チーム・社会の変え方」、オルタナティブツアーもちつき交流会、ひょうごコミュニティ財団理事会、居住支援法人座談会・交流会、2025年度国際協力報告会、「外国ルーツの子どもたちの今と居場所づくり～地域で支えるためにできること～」
- 2月 コープ兵庫フードドライブ、神戸市委託「ボランティアマネジメントの基礎を学ぶ」実践編、地域国際化推進アドバイザー意見交換会、組織改革のための取り組み「フィリピンでも、日本でも、安心して議論できる場を提供できる組織へ」、NGOネパール虹の家例会、NGO神戸外国人救援ネット運営委員会、JANIC多文化共生WG、日本学術会議打合せ、ESD運営委員会、中日本YMCA役員等研修会、2027学年度米山記念奨学事業説明会、フードバンク関西、「信頼を積み上げチームを加速させる報連相の極意～成果を確実にする組織内コミュニケーション～」
- 3月 神戸国際コミュニティセンター理事会、NGO-JICA協議会、外務省主催NGOインターン・プログラム報告会、大阪YMCA評議員会、フードバンク関西、ESDリレーワーク、日本とミャンマーをつなぐ～ミャンマー地震から1年追悼～、ハチドリ電気支援団体活動報告会、神戸YMCA評議員会、コープともしびボランティア振興財団理事会、JANIC多文化共生WG

<敬称略>

<他団体への運営協力>

一般財団法人自治体国際化協会・地域国際化推進アドバイザー
 学校法人大阪YMCA 評議員
 公益財団法人神戸国際コミュニティセンター 理事
 公益財団法人神戸YMCA 評議員・国際委員
 公益財団法人コープともしびボランティア振興財団 理事
 公益財団法人ひょうごコミュニティ財団 理事・審査委員
 神戸NGO協議会 運営委員
 JANIC多文化共生ワーキンググループ メンバー
 多文化共生のための国際理解教育・開発セミナー 運営委員
 特定非営利活動法人NGO神戸外国人救援ネット 理事・運営委員
 西日本地区入国者収容所等視察委員会 視察委員
 兵庫・国際協力同士の会(HYOMIC) 幹事
 兵庫ユニセフ協会 評議員
 ひょうご市民活動協議会(HYOGON) 運営委員



株式会社神戸マツダ様 PHD協会活動車両贈呈式

広報物



事業報告2024



会報159号



会報160号



会報161号



会員募集チラシ



研修生チラシ



カレンダー・年末募金



JICA NGO等提案型プログラム 福祉×多文化共生フォーラムチラシ



JICA NGO等提案型プログラム Canvaセミナーチラシ

メディア活動

PHDの活動について幅広く情報発信し、メディアの特性に合わせた広報・啓発活動を展開しました。

SNS

Facebook、Instagram、YouTube、X(旧:Twitter)

新聞

神戸新聞(6回)、読売新聞(4回)

他団体会報、マスコミ出演等

関西テレビ2回、NHK2回

きょうどう2025年12月号、きょうどう2026年2月号、(公財)ロータリー米山記念奨学会よねやまだより2026年3月号

<敬称略>

Facebook (いいね)	2,769
Instagram (フォロワー)	1,222
X (フォロワー)	500
YouTube (チャンネル登録者)	94

(2026年3月31日現在)



Instagram
研修生活動紹介



Instagram
研修生活動紹介ショート動画



Instagram
みんなのいえ便り



Instagram
食料配布会報告



YouTube
ネパールと日本の手話チャンネル



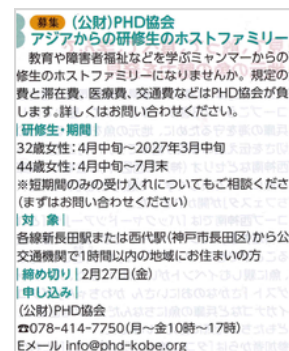
2025年4月8日読売新聞



2025年7月5日神戸新聞



2026年3月28日神戸新聞



2026年2月
コープこうべ きょうどう



2025年5月15日神戸新聞



2025年12月2日神戸新聞



2026年4月4日神戸新聞
※取材は2026年2月



(公財)ロータリー米山記念奨学会
よねやまだより 2026年3月号

第26期国内研修生

国内における人材育成を目的として、2025年度は国内研修生を3名受け入れました。

関谷 実代 さん
(大学生)

活動期間:2025年7月25日～2026年3月31日

活動内容:研修業務、広報・啓発業務



パワニ カウヤ セウミニ ジャヤコディ さん
(日本語学校学生)

活動期間:2025年10月1日～2026年3月16日

活動内容:居住支援業務



武部 澄佳 さん
(大学生)

活動期間:2025年6月13日～2026年3月31日

活動内容:研修業務、広報・啓発業務



JICA NGO等活動支援事業 NGO等提案型プログラム

NGO等提案型プログラム「多文化共生に資するコンサルティングを通じたNGO等の能力強化プログラム」を完了しました(事業期間:2024年4月～2026年5月)。本事業では兵庫県下で多文化共生に関わるNGO等の能力強化およびネットワーク促進を目指し、以下三つのプログラムを実施しました。

- ①多文化共生に関わるNGO等の能力強化(川西市、神河町、神戸市西区)
- ②外国人が安心して医療にアクセスできる多機関ネットワークの構築(丹波市、丹波篠山市)
- ③社会福祉分野と多文化共生分野の連携促進(兵庫県)



福祉×多文化共生フォーラム実行委員会

また、上記プログラム③の一環として、ブックレット「多文化共生社会における地域福祉の実践とこれから～支援から参加、活躍へ～」を発行しました(A4判・60頁)。本書は、2026年3月17日に開催した福祉×多文化共生フォーラム「多文化共生社会における福祉の役割～支援から参加、活躍へ～」の講演記録を中心に、各地の社会福祉協議会による多文化共生の実践や、地域福祉分野と多文化共生分野の連携に向けた提言をまとめたものです。本書は全国の社会福祉協議会や国際交流協会、NPO/NGOなど311件に配布しました。

本事業に関する資料は、以下のリンク・二次元コードよりご覧いただけます。



ブックレット



「多文化共生社会における地域福祉の実践とこれから～支援から参加、活躍へ～」

二次元コード
はこちら



<https://www.phd-kobe.org/wp/wp-content/uploads/2026/05/tabucolla2.pdf>



ダイジェスト動画
(YouTube)



「福祉×多文化共生フォーラム」

二次元コード
はこちら



<https://www.youtube.com/watch?v=a6yIKeiEc9k>



事業報告書



「多文化共生に資するコンサルティングを通じたNGO等の能力強化プログラム」

二次元コード
はこちら



<https://www.phd-kobe.org/wp/wp-content/uploads/2026/05/tabucolla2-report.pdf>



2025年度のPHD協会の運営について報告します。

過去3年間収入比較

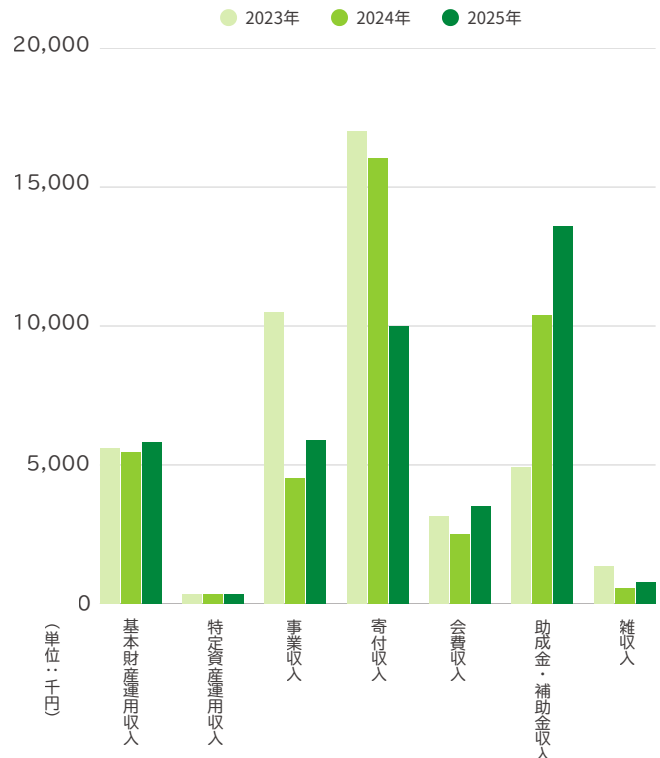
2025年度決算

正味財産増減計算書

自2025年度4月1日・至2026年度3月31日（単位：円）			
経常収入		経常支出	
科目	決算額	科目	決算額
基本財産運用収入	5,820,918	研修事業費	28,098,518
特定資産運用収入	350,000	啓発事業費	22,203,839
事業収入	5,888,500	管理費	6,854,276
寄付収入	9,994,320		
会費収入	3,508,000		
助成金・補助金収入	13,573,253		
受取利息・配当金	39,347		
災害救援寄付金収入	15,424,159		
雑収入	775,983		
経常収益計	55,374,480	経常費用計	57,156,633

貸借対照表 2026年3月31日現在（単位：円）

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	6,259,958	流動負債	760,861
固定資産	333,196,344	固定負債	6,377,950
（うち基本財産として 264,673,712）		正味財産	332,317,491
資産合計	339,456,302	負債及び正味財産合計	339,456,302



運営協力委員会

一幡 孝明	兵庫県町村会 事務局長
大西 巧	一般社団法人兵庫県信用金庫協会 常務理事
大家 重明	兵庫県青年洋上大学同窓会 会長
川本 竜司	JOCV近畿地区兵庫県OB会 理事
神吉 泰彦	高砂にPHD研修生を迎える会
喜多野 章夫	喜多野診療所 院長
草地 とし子	社会福祉法人頌栄会 評議員
下根 悟	一般社団法人兵庫県信用組合協会 常務理事 兼 事務局長
白石 麻紀子	国際ソロプチミスト神戸 会長
白崎 大介	神戸キワニスクラブ 福祉広報委員長
新谷 浩一	兵庫県立学校長協会 会長
杉田 健治	社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会 事務局次長(福祉推進担当)
高藤 真理	元大学職員 歯科衛生士/歯科衛生指導者
高松 智美	一般社団法人兵庫県歯科医師会 総務部 総務企画課 課長
田中 稔彦	兵庫県漁業協同組合連合会 専務理事
谷勝 公代	兵庫県連合婦人会 会長
都出 千尋	一般社団法人兵庫県医師会 事務局長
猶原 信男	マンマー関西 代表
中井 弘慈	一般社団法人兵庫県私学総連合会 事務局長
中井 靖浩	兵庫県中学校長会 会長
中田 豊一	NPO法人ムラのミライ シニアコンサルタント
長崎 理恵	インドネシア語通訳ボランティア
永田 憲亮	株式会社神戸新聞社 報道部長
西村 早百合	Group Taytay
松本 秀文	兵庫県連合自治会 事務局長
南 喜樹	一般社団法人神戸銀行協会 専務理事
本山 秀治	公益財団法人老人クラブ連合会 事務理事 兼 事務局長
持木 由美	一般社団法人ガールスカウト兵庫県連盟 書記
森口 育子	兵庫県立大学 名誉教授
山崎 美和子	一般社団法人兵庫県薬剤師会 事務局長
山田 知之	兵庫県小学校長会 会長

役員（2026.6.～）

理事会

理事長 水野 雄二	社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団 理事長
理事 尾上 尚司	公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団 理事長
理事 小林 由佳	株式会社神戸新聞社 論説委員
理事 坂西 卓郎	公益財団法人PHD協会 常務理事
理事 塩見 彰浩	兵庫県産業労働部 次長 兼 国際局長
理事 滝澤 功治	神戸海都法律事務所 弁護士
理事 丸尾 研一	株式会社エムエスケイ 代表取締役
理事 吉井 久美子	有限会社環境科学研究所 代表取締役
監事 飯田 健一	飯田会計事務所 公認会計士 税理士
監事 冬頭 佐智子	生活協同組合コープこうべ 地域活動推進部 統括部長

顧問

顧問 安平 和彦	はりま法律事務所 弁護士
顧問 橋本 一豊	株式会社神戸マツダ 代表取締役会長

評議員会

岩坂 二規	関西学院大学院教育学研究科 准教授
小澤 昌甲	公益財団法人神戸YMCA 総主事
寒者 恵	元三木市職員 保健師/保健衛生指導者
寺田 正文	てらだ農園/農業指導者
納堂 邦弘	ミカタスイッチ株式会社 代表取締役/元PHD協会職員
秦 紳一郎	元米山記念奨学委員長
樺木 恵子	社会福祉法人聖和共働福祉会 理事長
宮田 泰子	公益財団法人神戸YWCA 理事

助成金・受託事業

日本労働組合総連合会 2025年度「愛のカンパ中央助成」

人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」のため、NGOなどの事業の支援を目的とする本助成事業より、SDGs達成のためのPeace研修生・聴覚障害のある研修生の育成とシェアハウスを通じた難民・困窮外国人支援事業へのご支援をいただきました。

中央共同募金会「外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」第6回

赤い羽根福祉基金「社会課題テーマ」助成として、外国にルーツのある人々への支援活動を応援する目的で公募された本助成を受け、シェアハウス「みんなのいえ」を拠点とした外国ルーツの人々の自立と健康のための包括的支援事業を実施しました（事業期間：2025年10月～2026年9月）。

神戸まちづくり六甲アイランド基金

神戸市における国際的かつ文化的なコミュニティづくりに資する活動の支援を目的とする本助成を受け、生活に困窮する外国人のための食料・生活物資支援事業を実施しました。

兵庫県婦人会館ユネスコ基金

兵庫県下における国際感覚豊かな青少年の育成を目的とする本助成を受け、ミャンマーの孤児院で働くソーシャルワーカーと青少年が国際平和について学ぶ交流事業を実施しました。

第3回 LIFULL HOME'S 基金

命を守るためのシェルター・一時的な住まいを提供する事業の継続を支援する本助成を受け、シェアハウス「みんなのいえ」の換気扇工事、エアコン取替工事、家具家電の購入を行い、住環境の改善に取り組みました。

国際協力機構(JICA) NGO等提案型プログラム

2024年度に引き続き国際協力機構(JICA)からの委託事業として、「多文化共生に資するコンサルテーションを通じたNGO等の能力強化プログラム」を実施しました（事業期間2024年4月～2026年5月）。

外務省 令和7年度「NGOインターン・プログラム」

2024年度に引き続き「NGOインターン・プログラム」の受入団体に選定されました。本プログラムは、若手人材の育成を通じてNGOによる国際協力を拡充するための制度です。

事務局・スタッフ（2026.4.～）

事務局



坂西 卓郎
常務理事・事務局長



中村 朱里
総務・ファンドレイジング担当



内堀 友晴
研修担当



井上 遼香
広報・啓発担当



濱 宏子
みんなのいえ施設長



山本 真記子
研修担当/広報担当

ミャンマー現地スタッフ



モーママ
2013年度第31期生



サンティダエー
2015年度第33期生



ティダチョー(マーチョ)
2016年度第34期生

ネパール現地スタッフ



ランマヤ・タマン
2012年度第30期生



スシラ・バセル・サルキ
2019年度第37期生

インドネシア現地スタッフ



ダスウィル
1999年度第17期生



アルウィ ファドリ
2001年度第19期生



ダルミアティス (ミミ)
2002年度第20期生



アフリタ
2004年度第22期生



マスラル アリゾン
2005年度第23期生



ダリスマン
2013年度第31期生

受賞歴

- 1981 岩村先生、第1回ロータリー国際理解と平和賞受賞
- 1982 神戸新聞平和賞
- 1982 兵庫県社会賞
- 1988 国際交流基金、地域交流振興賞
- 1990 神戸国際交流賞
- 1991 毎日国際交流賞
- 1993 岩村先生、マグサイサイ賞受賞
- 1995 第4回環境水保賞受賞
- 1996 外務大臣賞受賞
- 1997 今井理事長、兵庫県功労者表彰
- 2001 神戸新聞社社会賞
- 2011 井植文化賞
- 2013 かめのり賞
- 2014 神戸キワニスクラブ社会貢献賞
- 2022 第5回はなやかKANSAI魅力アップアワード社会的効果部門特別賞

PHD 協会の
各種 SNS は
こちらから
ご覧ください。



HP : <http://www.phd-kobe.org>



〒653-0836
神戸市長田区
神楽町3丁目7-4
TEL : 078-414-7750
FAX : 078-414-7611

